



2021年2月12日

各 位

会社名 神戸天然物化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 宮内仁志  
(コード番号 6568 東証マザーズ)  
問合せ先 常務取締役経営企画室長 先砥庸治  
(TEL. 078-955-9900)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月13日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 通期業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	6,800	950	1,000	740	95.55
今回修正予想(B)	5,850	530	570	310	39.97
増減額(B-A)	▲950	▲420	▲430	▲430	
増減率(%)	▲14.0%	▲44.2%	▲43.0%	▲58.1%	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	6,347	574	644	518	67.02

#### 2. 修正の理由

2020年5月13日に公表いたしました通期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が進む中、概観的で不透明な情報が多く、当社に与える影響を合理的に算定することが困難であり、軽微な影響で推移するとの前提で作成いたしました。

しかしながら、世界的に感染拡大が長引き、各事業分野などにおいて以下の事態が顕在化し、その結果2021年3月期の業績が、前回予想を下回る見込みとなりましたので、通期業績予想を修正することといたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が、2021年3月期中も続くと仮定しています。

- ① 機能材料事業分野において、新型コロナウイルス感染拡大により、当社製品を搭載したデバイス評価が遅れるなど当社顧客の開発計画に遅延や見直しが生じました。この事より、通期見通しから 100 百万円減少(4.5%減)する見込みとなります。
- ② 医薬事業分野において、従前どおり下期に研究・開発ステージ案件の販売を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により次の影響が発生しました。
  - 海外原材料等の納入遅れによる生産計画の見直し
  - 顧客の臨床試験などの遅れによる、開発計画の遅れや見直しこれらの事より、通期見通しから 410 百万円減少(12.5%減)する見込みとなります。
- ③ バイオ事業分野において、大型案件に使用している材料の調達、米国の新型コロナウイルスワクチン製造の関連により、遅延いたしました。この事より、通期見通しから 440 百万円減少(33.8%減)する見込みとなります。
- ④ 営業利益においては、費用の削減などの支出の抑制があるものの、売上減少の影響により、420 百万円減少(44.2%減)する見込みとなります。
- ⑤ 特別損失の計上  
当社の保有する創薬ベンチャー株について、新型コロナウイルスの影響による開発等の遅延状況から、その財政状態、事業計画等を勘案した結果、実質価額の回復が認められないと判断し、投資有価証券評価損 110 百万円を特別損失に計上いたしました

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる場合があります。

以上